

## 大学図書館近畿イニシアティブ運営委員会（第1回）議事概要

日 時 平成20年7月2日（水）15:00～17:00  
場 所 京都大学附属図書館 4階 大会議室  
出 席 兄井、今村（関西学院大学）、山田（甲南大学）、大島、臼井（立命館大学）、  
上田、深川（同志社大学）、鹿田（近畿大学）吉井、平方（大阪市立大学）、  
中岡、赤崎（大阪府立大学）、細戸、稲葉（大阪大学）、棚橋、奥田（神戸大学）、  
長坂委員長、西山（京都大学）、  
欠 席 宮地（甲南大学）

### I. 協議事項

#### 1. 平成20年度の運営体制（案）

長坂委員長から、資料に基づいて平成20年度運営委員会（案）及び専門委員会運営体制（案）が提案され、協議の結果、原案通り了承された。

#### 2. 平成20年度事業計画（案）

長坂委員長から、資料に基づいて平成20年度年間計画（案）が提案され、協議の結果、原案通り了承された。

鹿田能力開発専門委員会主査から、資料に基づいて初任者研修の実施について提案され、協議の結果、原案通り了承された。また、研修対象者に国立国会図書館職員や賛助会員を含める方向で見直す必要があること、講演レジメを研修終了後にウェブサイトに掲載することが提案され、このうち、講演レジメについては著作権の許諾を得た上で公開していくこととなった。

吉井広報・Web専門委員会主査から、資料に基づいて今年度事業計画案が提案され、協議の結果、原案通り了承された。今年度の課題としてウェブサイトのデザインに昨年度決められたロゴを活かしていくこと、RSSの本稼働があげられた。

吉井外部資金担当委員から、資料に基づいて今年度事業計画案が提案され、協議の結果、原案通り了承された。

西山委員から、資料に基づいて平成20年度予算案が提案された。これまで研修会場校に様々な便宜を図ってきていただいたところから、研修会場校謝礼を新設することが提案されたが、協議の結果、予算項目としては立てないこととなった。また、昨年度までは研修参加者から資料費を徴収していたが、これを徴収しないこととし、初任者研修経費を170,000円とすることになった。西山委員から、資料に基づいて平成19年度と同様の形式で年次報告を作成することが提案され、協議の結果、原案通り了承された。

#### 3. その他

- ・鹿田委員から、これまで実施してきた研修記録等の保管年限について、原則2年保存としたことの提案がされ、協議の結果、業務上参考とする資料を除き原則2年保存とすること、2年を経過したものは事務局に送付すること、記録等の廃棄の判断は事務局に一任することとなった。
- ・棚橋委員から、初任者研修の会場を神戸大学で用意する旨の意向が示された。具体的な予定は今後、能力開発専門委員会と調整することとなった。

### II. 報告事項

#### 1. 平成19年度活動報告

##### (1) 専門委員会報告

- ・鹿田能力開発専門委員会主査から、資料に基づいて平成19年度の活動が報告された。
- ・吉井広報・Web専門委員会主査から、資料に基づいて平成19年度の活動が報告された。
- ・吉井外部資金担当委員から、資料に基づいて平成19年度の活動が報告された。賛助会員に応募口数に応じたインセンティブが働くよう工夫していく必要のあることが提案された。

## (2) 関係機関の動向

西山委員、稲葉委員、細戸委員、長坂委員長から、国立大学の動向として次の事項が報告された。

- ・ 5月1日に東京大学で「電子ジャーナルが読めなくなる」と題したシンポジウムを開催した。
- ・ 6月25日に国大図協マネジメントセミナーを開催した。
- ・ デジタルリポジトリ連合 (DRF) の活動として、1月30－31日に DRFIC2008 を開催したこと、11月27日に横浜の図書館総合展に出展する予定であること、1月頃に近畿地区でワークショップを予定していること。
- ・ 8月29日に大阪大学で Nature Japan のセミナーを予定していること。
- ・ 大阪大学を会場として Thomson Corporation のインパクトファクターに関する講演会を予定していること。
- ・ 今年度、京都大学附属図書館の全館改修を予定していること。
- ・ 今年度、大阪大学附属図書館と吹田分館の耐震改修工事が予定されていること。改修工事後にラーニング・コモنزの設置を予定していること。
- ・ 京都大学附属図書館研究開発室に専任の准教授ポスト (10年間) が措置され、現在、公募中であること。

吉井委員から、公立大学の動向として次の事項が報告された。

- ・ 公立大学の統合 (長崎県立大学)
- ・ 公立大学協会図書館協議会に奈良県立医科大学が復帰したこと。
- ・ 中規模大学を中心に電子ジャーナルの維持に苦慮していること。
- ・ 公私立大学図書館コンソーシアム (PULC) 版元説明会を9月17・19日に予定していること。

兄井委員、上田委員から、私立大学の動向として次の事項が報告された。

- ・ 6月29日に阪神地区協議会総会をおこなったこと。
- ・ 図書館職員の削減が厳しく、協議会役員の選出が難しくなっていること。
- ・ 8月8日に姫路でセミナーを予定していること。
- ・ 4月25日に京都地区協議会総会を金沢工大でおこなったこと。
- ・ 6月13日に西地区部会総会をおこなったこと。
- ・ 8月29日に広島経済大学でセミナーを予定していること。

奥田委員から、9月18－19日に開催される全国図書館大会兵庫大会が案内された。

西山委員から、国公私協力委員会の活動として次の事項が報告された。

- ・ 5月15日に素粒子物理学雑誌のオープンアクセス化 (SCOPA3) に関する説明会が開催されたこと。
- ・ 7月25日に国公私協力委員会を大阪学院大学でおこなうこと。
- ・ 博士学位論文の電子化について、国立国会図書館・大学図書館、文部科学省で検討を進めていること。
- ・ 11月28日に横浜の図書館総合展でシンポジウムの開催を予定していること。

## 2. その他

第2回運営委員会を甲南大学を会場として、第3回運営委員会を大阪大学を会場として開催することが確認された。

以 上